

## 1. 大学スポーツの課題とUNIVASの役割

■2016年に文部科学大臣により設置された「大学スポーツの振興に向けた検討会議」において、大学スポーツ振興の重要性と課題が提起されました。

### 大学スポーツの重要性

- ▶大学スポーツ振興の意義
  - ・大学スポーツの振興には、国民の健康増進や地域・経済の活性化等に資する可能性を有するなど、公共的役割を担う可能性
  - ・大学には、アスリートや指導者等の貴重な人材、体育・スポーツ施設が存在
- ▶大学スポーツ資源の潜在力を発揮するための方向性
  - ・スポーツの社会的効用を理解することは社会発展の促進に資することから、大学においてスポーツ分野を学ぶことが重要
  - ・大学や学生競技連盟を核とした大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)の創設に向けた議論が必要

### 振興に向けた個別テーマ

- ①大学トップ層の理解の醸成
- ②スポーツマネジメント人材育成・部局の設置
- ③大学スポーツ振興の資金調達力の向上
- ④スポーツ教育・研究の充実や小中高学校等への学生派遣
- ⑤学生アスリートのデュアルキャリア支援
- ⑥スポーツボランティアの育成
- ⑦大学スポーツ資源を活用した地域貢献・経済活性化

### 統括組織の在り方

#### 【期待される役割】

- ①学生アスリートの育成  
(学業成績要件の統一、デュアルキャリア支援等)
- ②学生スポーツ環境の充実  
(スポーツ活動への支援、保険制度の充実、等)
- ③地域・社会・企業との連携  
(地域貢献活動の総括、ガイドライン整備等)

#### 【組織体制】

- ①民間の法人として設立し、民間資金による運営を基本とする。
- ②原則大学、学連の自主参加(任意)とする。
- ③大学、学連が加盟のメリットを実感できるものとする。
- ④大学、学連等の従来の活動を阻害せず、調和のとれたものとする。
- ⑤安定した収入源を得るため、様々な手法の開拓を図る。
- ⑥当初は実行可能な分野、規模からスタートする。

■その後、「学産官連携協議会」、「設立準備委員会」での討議と準備を経て、2019年3月「一般社団法人 大学スポーツ協会」として設立されました。

### 設立理念

- ・大学スポーツの振興により、「卓越性を有する人材」を育成し、大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。  
もって、我が国の地域・経済・社会の更なる発展に貢献する。
- ※「卓越性を有する人材」: 知・徳・体(生きる力)を備えた身体面・精神面・学業面で優れた人材

## 2. UNIVASの活動指針と組織体制

### 活動指針

「大学スポーツの振興」を果たすには大学スポーツに関わる人々、「大学スポーツ参画人口の拡大」が必要である。  
UNIVASは「する・みる・ささえる」の3つの関わり方を念頭に、大学スポーツ学生の増大・大学スポーツを応援する人々の開拓・大学スポーツを支援する体制の整備に取り組んでいる。

#### 大学スポーツの振興

- ・学生アスリートが生き生きとしてスポーツと学修に取り組む
- ・大学・競技団体が更なる発展を遂げる。

#### 大学スポーツの参画人口の拡大

- ・大学スポーツに関わる人々を性別や障がいの有無等に関わらず平等に増やしていく。

スポーツを体験する

スポーツを応援する

スポーツを支援する

#### 大学生活においてスポーツする学生を増やす活動

- ・運動部員数の拡大に向けて、学業面・安全安心な環境面での支援を充実させる。

#### 大学スポーツを観戦、応援する人口を増やす活動

- ・自らの大学を応援する風土づくり・父兄、OBOGや地域住民を中心にファンを創出する。

#### アスリートと運動部活動への支援を強固にする活動

- ・大学による統括、支援・スポーツ医科学研究成果の現場への還元・産学連携を推進する。

### 会員数

①大学会員:220大学  
全国42都道府県に立地

国立	28	12.7%
公立	4	1.8%
私立	168	76.4%
短大	20	9.1%
合計	220	100.0%

②競技団体会員:35団体  
登録学生17万人

球技	BB型	2	14
	G型	9	
	N型	3	
格闘技		9	21
射的競技		2	
水上競技		4	
その他		6	
合計		35	

### 執行体制

#### ■役員体制

【顧問】・川淵三郎  
・小宮山宏  
・松浪健四郎  
【名誉会長】・鎌田薫  
【会長】・代行:川原貴  
【副会長】・有森裕子  
【理事】・大学競技団体関係者、一般有識者計17名

#### ■事業推進委員会体制

- ・デュアルキャリア委員会
- ・安全安心委員会
- ・事業企画委員会
- ・データベース開発委員会
- ・総合推進委員会

### パートナー

■民間企業4社とパートナー契約を締結。共同事業の推進と広告協賛を受領。



MS&AD

INSURANCE GROUP

河合塾グループ  
株式会社 KEIアドバンス

## 3. 設立後2年間におけるUNIVASの推進事業

■設立準備委員会から引き継いだ課題は設立後2年間において全て着手し、事業内容と成果のより一層の充実に向けて事業推進を行ってきている。

目的	事業	プログラム	2年間の進捗
人材育成	デュアルキャリア形成支援事業	①入学前から在学中のデュアルキャリア形成を支援するプログラムをオンラインとオンサイトにて提供。 ：入学準備プログラム/DCオンラインセミナー/キャプテン、マネージャー対象研修会/指導者研修会 ②文武両道の浸透に向けた運動部学生への学業基準(最低単位取得)設定の実証検証を推進。 ③出遅れがちであった運動部学生の就職活動を支援する運動部学生専用プログラムを提供。	セミナー研修会参加者5,646人 オンラインセミナー受講450人
	安全安心な環境確立事業	①競技別跛行性のあった安全安心基準を競技横断型で「UNIVAS安全安心ガイドライン」として策定。 ②試合や大会現場における有事対応強化に向けて「医療従事者等配置」助成事業を実施。 ③スポーツ現場におけるハラスメント問題を対象とする「UNIVAS相談窓口」を開設して相談を受付。 ④予防策の充実化に向けて保険データ分析に基づく事故怪我発生傾向を分析した情報を提供。	安全安心ガイドライン16千冊配布 医療従事者等配置27件
大学ブランド確立	大学スポーツの認知拡大事業	①大学スポーツの象徴としてインカレを結集した競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP」を開催。 ②大学スポーツを「見て応援する」ファンの創出に向けて試合動画を制作して無料にて配信。 ：2020年度32競技1,528試合(うちライブ配信1,005試合)/のべ視聴者数1,002千人 ③UNIVAS理念を体現した学生、大学、競技団体を表彰する「UNIVAS AWARDS」を制定、表彰を実施。	配信2,351試合 視聴者123万人 表彰件数 217件
	地域貢献推進事業	①大学における推進体制の整備に向けて「大学スポーツ統括業務手引書」を発行、大学スポーツ管理者に対する研修会を開催。 ②各大学における優良な取り組みを収集し、大学に参考事例として提供。	研修参加者247名 業務手引書配布650部
マネジメント強化	DX推進事業	①運動部学生データ管理における効率と安全性の向上に向けた管理システムをUNIVASにて開発、会員大学と競技団体に無償にて提供を開始。 ②データ登録学生に対するオンラインサービスプログラムの提供を開始、メニューの拡充を推進中。	管理者登録148大学 ID登録5,000人
	ガバナンス強化事業	①大学における運動部管理者に対して、大学スポーツの重要性への意識啓発と知見の共有を図る全国研修会を年次開催。 ②コンプライアンスの強化に向けた事例集の発刊とオンライン研修会の開催。	研修会参加者466人

## 4. 2021年度以降のUNIVAS事業推進の方針

強化領域	事業推進の方針	事業プログラム
<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じて得られる多様で貴重な体験は社会人基礎力に繋がるものとして、運動部学生に自覚させるプログラムの体系を確立する。</li> <li>・充実した4年間を過ごせるよう、入学前、在学中、卒業準備と成長ステージに沿った支援プログラムと学業基準を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ①デュアルキャリア形成支援プログラムの拡充             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインセミナー12テーマの開発により完結</li> <li>・運動部学生就活支援プログラム体系の確立</li> </ul> </li> <li>▶ ②実践検証を踏まえて学業基準制度の新設</li> </ul>
<p>安全安心環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心ガイドランの実行体制の確立に向けて認証評価制度を新設、認証評価に補償制度を付加し、より一層の安全体制の実現を図る。</li> <li>・競技活動における事故、怪我予防方法の開発に向けて、データ収集と解析を行う研究に着手する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ①UNIVAS 安全安心認証(SSC)制度の新設             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全体制の実地評価により認証と損害賠償補償を付与し、安全体制の更なる充実化を図る</li> </ul> </li> <li>▶ ②スポーツ外傷・障害予防策の研究・開発事業</li> </ul>
<p>地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学スポーツへの大学関与度を高め、地域における大学アイデンティティ確立に向けてスポーツを積極的に活用する活動を支援する。</li> <li>・大学が保有するスポーツ資産(人、モノ、知見)を積極的に地域に還元していく手法の確立に着手する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ①大学による地域との相乗効果創出に関する手法の開発と事例集の発行</li> <li>▶ ②大学のスポーツ関与度向上に向けたシンポジウムの開催</li> </ul>
<p>認知拡大市場開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みるスポーツの拡大」に向けて、動画配信のより一層の拡大と視聴者の囲い込みを図り、大学スポーツファン顧客基盤の確立に着手する。</li> <li>・大学スポーツのシンボル大会として「UNIVAS CUP」の認知度向上と、新たなシンボル大会の開発に着手する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ①「UNIVAS FAN向け アプリ」の開発             <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴をもっと楽しめるアプリを開発、無料DL、ID登録により顧客基盤の確立を開始する。</li> </ul> </li> <li>▶ ②新たなスポーツ大会開発への着手</li> </ul>
<p>DX推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力やコンディショニングの向上、事故怪我予防において、暗黙知依存型から、データ化による可視化、解析による効果的な活用方法の開発への転換を更に推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ①運動部員管理プラットフォームの提供             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部、大学、競技団体管理システムOur UNIVAS</li> </ul> </li> <li>▶ ②IoTコーチング、コンディショニング管理サービスの導入</li> </ul>

## 5. 大学スポーツ振興に向けた課題

### ①UNIVAS加盟会員数の開拓推進

- ・現状220大学(四年制大学加盟率25.6%)、35競技団体 →UNIVAS設立時の2025年目標:400大学・60競技団体
- ・任意加盟の団体として、活動への理解浸透と加盟する価値提供の充足化を更に図る必要がある。

### ②大学スポーツ参画人口の更なる拡大

- ・特に潜在ボリュームが多い「みるスポーツ」に関わる大学スポーツファンの開拓と組織化を図る必要がある。  
:大学生300万人、大卒学歴保有者1700万人から想定すると2,000万人規模の潜在顧客が想定できる。
- ・大学スポーツファン基盤を確立したうえで、大学スポーツマーケットの創造を目指していく。

### ③大学スポーツに対するマネジメント体制の改善

- ・課外活動であるが故、各大学における大学スポーツへの関与度に未だ跛行性は大きく、大学の自主性優先となっている。大学スポーツの価値創造に向けては、大学における関与体制の標準化を図る必要がある。
- ・並行して、デジタルトランスフォーメーション(DX)やスポーツ医科学研究の深耕を推進する必要がある。

### ④事業推進と拡大に向けた収入基盤の強化

- ・UNIVASレベニューラインは会費収入・補助金助成金・民間企業協賛であるが、収入金額の80%以上を民間企業協賛に依存している収入構造である。
- ・組織運営の安定化と発展に向けて、自主財源確保策の確立・協賛企業団体の拡大を図る必要がある。

## 6. 第三期スポーツ基本計画に期待すること

### ①Sports in Lifeの推進

- ・アフターTOKYO2020期において、スポーツの価値を浸透させる「分かりやすく強いメッセージ」を期待しています。
- ・また、「Sports in Life」の実現においては、大学時期におけるスポーツへの関わり方が重要であり、大学生のスポーツ離れの歯止めをかけることに繋がる指針と政策を期待しています。

### ②競技横断型世代連結型スポーツ推進体制の確立

- ・学校世代においては、スポーツを通じた人間力形成・人材育成への一環した取り組みが必要であり、また競技によっては大学スポーツとプロスポーツのボーダレス化が進捗しています。
- ・人材育成に向けた競技横断型世代連結型のスポーツ推進体制実現への指針と政策の提示を期待しています。

### ③大学スポーツ振興に向けた支援の増幅

- ・「みるスポーツ」を更に浸透させ、文化としての定着化に向けた指針と政策の提示を期待しています。
- ・また、大学スポーツの振興は全世代のスポーツ振興に波及する可能性を大いに秘めておりますので、公的機関からの更なるご支援を強く期待しています。



一般社団法人  
大学スポーツ協会

## D X推進

### スポーツの「みえる化」

- ・ インカレ32競技の映像化と無料配信。  
視聴回数1百万回超

### みるファンの「組織化」

- ・ 視聴アプリ提供により、ファンデータ取得と組織化、ファン顧客基盤を構築

### 運動部学生の「データ化」

- ・ 運動部学生データ登録システム開発、データベース化推進。

### マネジメントの「デジタル化」

- ・ 大学・競技団体における運動部員管理をデジタル化に移行。

### 安全対策の「基準化」

- ・ 予防、対処等安全対策の標準形のガイドライン規定。

### 安全レベルの「認証化」

- ・ 実施レベル評価により認証化。安全対策データベースの構築。

## 大学スポーツ価値の向上

地域貢献

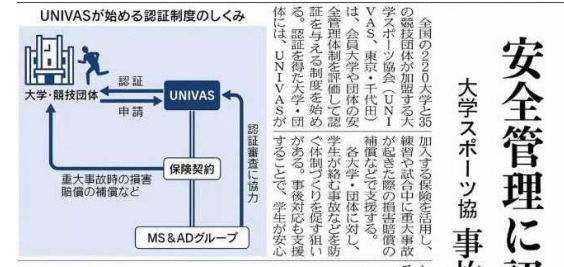
ブランディング

人材育成

# 資料2：安全安心認証制度スタート！

## 5/10安全安心認証制度スタートに際して、大手メディアを中心に多くの報道がなされました。

### 5/10 日本経済新聞 朝刊 社会面



### 安全管理に認証制度 大学スポーツ協事後対応も支援

全国の大学35校が加盟する「安全安心認証制度」を導入する。UNIVAS=大学スポーツ協会が加盟大学や競技団体の安全対策を評価する「安全安心認証制度」を導入すると発表した。認証を受けた加盟大学や競技団体は事故が起きた場合の補償支援を自動的に受けられるようになり、1人1億円を限度に損害賠償金がカバーされる。

UNIVASは、各大学の安全対策を評価し、加盟大学や競技団体の安全対策を評価する「安全安心認証制度」を導入すると発表した。認証を受けた加盟大学や競技団体は事故が起きた場合の補償支援を自動的に受けられるようになり、1人1億円を限度に損害賠償金がカバーされる。

### 鎮魂の「青いのぼり」舞う

東日本大震災の被災地、宮城県東松島町の海岸で、青いのぼり旗が舞い上がる。震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

### 国内での確認

北海道	1781 (+13)	2566 (+38)	6471690 (+6487)	170907 (+67)
東北	8339 (+32)	583 (+15)	1475634 (+103)	1811 (+2)
関東	593 (+15)	3860 (+72)	379852 (+279)	68 (+1)
中部	5667 (+41)	5600 (+29)	374389 (+152)	111 (+4)
近畿	5600 (+29)	5719 (+37)	374389 (+152)	111 (+4)
中国	5600 (+29)	5719 (+37)	374389 (+152)	111 (+4)
四国	5600 (+29)	5719 (+37)	374389 (+152)	111 (+4)
九州	5600 (+29)	5719 (+37)	374389 (+152)	111 (+4)
海外	14	14	14	14
合計	675131 (+1144)	675131 (+1144)	675131 (+1144)	675131 (+1144)

国内の新規コロナウイルス感染者

5月10日午後8時現在の感染者

累計 64万2402人(+6487)

死者 1万0920人(+81)

### 5/10 読売新聞 朝刊 社会面

### 大学スポーツ 不祥事検証補償 協会が新制度

大学体育会系部活動の統括組織「大学スポーツ協会（UNIVAS）」が、指導者による暴力などの問題が起きた大学に対し、原因究明や再発防止のための費用のサポートに乗り出す。近年不祥事が後を絶たない中、スポーツ界では極めて珍しい試みで、大学側に適切な対応を促し、学生が安心して競技に取り組める環境作りを目指す。

UNIVASは、加盟大学や競技団体の安全対策を評価する「安全安心認証制度」を導入すると発表した。認証を受けた加盟大学や競技団体は事故が起きた場合の補償支援を自動的に受けられるようになり、1人1億円を限度に損害賠償金がカバーされる。

### 北極の気候変動 観測データ共有

世界20か国・地域の代表が参加する「第3回北極科科学大臣会合が声明を採択した。気候変動が地球全体に及ぼす影響の予測研究の強化や、観測データの共有などを盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。

気候変動が地球全体に及ぼす影響の予測研究の強化や、観測データの共有などを盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。

### 「皆の希望の象徴に」

震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

### 5/10 NHK おはよう日本 onAir



### 安全な活動できる大学や競技団体を認証する制度 新設へ

2021年5月10日 4時58分

大学スポーツの現場で課題となっているハラスメントや活動中の事故などを防ぐこと、UNIVAS=大学スポーツ協会は、安全な活動ができると認めた大学や競技団体を認証する新たな制度を始めるとになりました。

### 北極の気候変動 観測データ共有

世界20か国・地域の代表が参加する「第3回北極科科学大臣会合が声明を採択した。気候変動が地球全体に及ぼす影響の予測研究の強化や、観測データの共有などを盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。

気候変動が地球全体に及ぼす影響の予測研究の強化や、観測データの共有などを盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。

### 鎮魂の「青いのぼり」舞う

東日本大震災の被災地、宮城県東松島町の海岸で、青いのぼり旗が舞い上がる。震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

震災から10年を前に、被災者の安否を祈る。未来への希望を託す。

### 5/10 サンスポweb



### ユニバスが安全認証制度 事故補償をサポート

2021.5.10 19:45

損害保険大手のMS&ADホールディングスと連携し、安全管理体制やハラスメントの相談窓口の設置など13項目をチェック。基準を満たせば事故の補償だけでなく、不祥事が起きた場合に原因を究明する第三者委員会の設置や再発防止の体制整備にかかった費用も300万円までサポートを受けることが可能になる。保険料はユニバスが負担する。10日に申請の受け付けを開始した。

### 5/10 マイナビニュース Web

### UNIVAS、安全安心な大学スポーツ環境を整備するための認証制度「UNIVAS SSC」開始

2021/05/10 12:55

大学スポーツ協会は、MS&ADインシュアランスグループホールディングスと連携し、日本初の安全安心認証「UNIVAS Safety and Security Certification」(以下UNIVAS SSC)制度の開始を5月10日に発表した。本制度は安全で安心な大学スポーツ活動の環境整備を目的としており、UNIVAS加盟大学・競技団体がスポーツ活動の安全に係るガイドラインを主体的に推進することをサポートしていくという。

